

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2022年2月18日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年2月18日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【増設多核種除去設備の炭酸ソーダ供給ポンプ(A)吐出流量調節計の制御緩慢について】</p> <p>当直員が、増設多核種除去設備(A)を起動後、当該設備の炭酸ソーダ供給ポンプ(A)吐出流量が周期的に変動していることを確認。</p> <p>当該流量調節計を確認したところ、流量設定値が約23%に対して約42~52%で変動しており、流量調節計の制御緩慢の影響によるものと判明。</p> <p>処置として、流量調節計の設定を約30.5%に手動で固定し、当該流量が規定値の約3.3~3.5 L/minで安定し、運転に影響がないことを確認。</p> <p>今後、ポンプの点検に合わせて当該流量調節計の点検を実施予定。</p>	GⅢ	2月17日
2	<p>【共用プール冷却材浄化系ポンプ(A)吸込み弁のシート漏えいについて】</p> <p>当直員が、共用プール冷却材浄化系ポンプ(A)の吐出逆止弁点検に伴う水抜きの際、当該ポンプ(A)の上流側の吸込み弁を増し締めするも、当該系統配管ドレン弁からの水抜き量に変化(鉛筆芯1本程度)がなく流れが止まらないことを確認。</p> <p>調査の結果、原因は、当該冷却材浄化系ポンプ(A)吸込み弁のシート漏えいによるものと判断。</p> <p>なお、共用プールの冷却運転時は、当該ポンプ(A)の吸込み弁を全開状態で使用するため、運転に問題なし。</p> <p>今後、当該吸込み弁の点検実施予定。</p>	GⅢ	2月15日
3	<p>【高性能多核種除去設備吸着塔(4A)自動空気抜き弁のシート漏えいについて】</p> <p>高性能多核種除去設備吸着塔(4A)の水張り完了時に、水張り用のろ過水流量が<math>0\text{m}^3/\text{h}</math>にならないため流量確認用ガラス窓を確認したところ、水の流れがあることを協力企業委託運転員が確認。</p> <p>調査の結果、自動空気抜き弁が正常であれば、水張り完了時にろ過水流量が<math>0\text{m}^3/\text{h}</math>になり、流量確認用ガラス窓に水の流れは発生しないことから、原因は、当該吸着塔(4A)の自動空気抜き弁のシート漏えいによるものと判断。</p> <p>なお、高性能多核種除去設備運転時は、自動空気抜き弁の前弁を全閉運用とするため、運転に問題なし。</p> <p>今後、当該自動空気抜き弁の分解点検または交換予定。</p>	GⅢ	2月15日